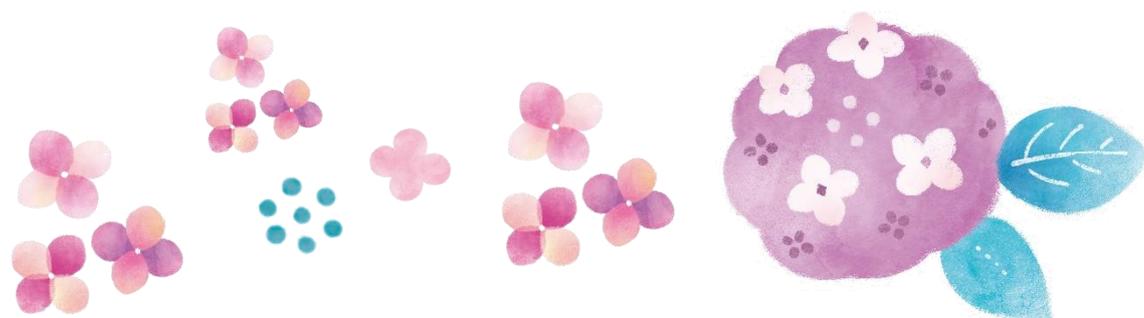


会報 いわて



2024 年度 定時総会が開催されました

WEB 開催となり、全件原案通り承認されました。
参加した皆様、お疲れさまでした。



2024 年度（一般社団法人）岩手県臨床衛生検査技師会

定時総会 議事録

日時：2024 年 5 月 25 日（土曜日）午後 13 時 30 分～

会場：WEB 開催（岩手医科大学付属内丸メディカルセンター技師研修室から配信）

2024 年度定時総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
5. 総会成立の確認
6. 議事
 - 承認第 1 号 2023 年度事業について
 - 承認第 2 号 2023 年度決算について
 - 承認第 3 号 2023 年度監査
 - 第 1 号議案 2024 年度事業計画（案）について
 - 第 2 号議案 2024 年度予算（案）について
7. 総会役員解任
8. 議長解任
9. その他
10. 閉会の辞

【議事録】

1. 開会の辞

定刻、事務局下川波歩は、本定時総会は Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、Web 会議システムにより、出席者の音声が届く状態に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認した上で開会を宣言した。

訂正 P1 2023 年度 ⇒ 2024 年度
2. 会長挨拶
3. 議長選出 議長 前川 久美（岩手県立宮古病院）
事務局より提案され、全会一致で承認
4. 総会役員選出
 - 議事運営委員 : 新沼 美穂子(岩手県立釜石病院)
 - 資格審査委員 : 三浦 采香 (岩手県立江刺病院)
 - 書 記 : 藤倉 由規 (岩手県立久慈病院) 熊谷 公代 (岩手県立大東病院)
 - 議事録署名人 : 下川 波歩 (岩手医科大学付属病院)
佐藤 昂 (岩手県立中央病院)

(い わ て)

5. 総会成立の確認

会員 542名 出席者 36名 委任状 317名

以上、出席者と委任状合わせて353名で過半数(271名)を満たしており、総会は成立しています。

6. 議事

承認第1号 2023年度事業について

一般経過報告

高橋一博 会長

事業報告

1) 総務部

佐々木まゆみ 常務理事

2) 学術部

小野寺奈緒 副会長

①第26回医学検査学会

②第29回岩臨技精度管理調査

③各部門主催研修会 計13回

④北日本支部部門研修会(岩手県担当分) 3部門

⑤タスクシフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会 2回開催

3) 各研究部門

書面参照

4) 公益事業部

川村将史 常務理事

- ・マイナビ進学ライブ2023(盛岡) 盛岡タカヤアリーナにて令和5年6月28日に高校生対象に行われた。臨床検査技師ブース来場者は31名。社会人アドバイザーとして臨床検査技師を選択した経緯や仕事の経験を伝え、将来を考える上でのアドバイスを行った。参加したことで学生の考えも聞くことができ、良い経験になった。今年度も開催予定であり積極的に参加したい意向である。
- ・検査と健康展 in やはぱーく 矢巾町活動交流センター やはぱーくにて令和5年11月12日に県民の方、臨床検査技師の仕事内容を知りたい方、臨床検査技師に興味のある学生を対象に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、昨年同様の内容で開催した。5類移行に伴い、参加者との「ふれあい」も大切にすべきと考え、新たに「AED体験」と超音波検査体験を行った。当日は162名もの多くの県民に足を運んでいただき大盛況に終わった。

5) 生涯教育研修部

千葉寛 副会長

6) 精度管理部

書面参照

7) 書記・会報部

藤倉由規 理事

8) 地区技師会・事業部

書面参照

承認第2号 2023年度決算について

佐々木まゆみ 常務理事

収支決算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

収支計算書に対する注記

財産目録 (2024年3月31日現在)

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

正味財産増減計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

承認第3号 2023年度監査報告書について

菊池英岳 監事

令和5年度年度監査報告書

以上承認第1号、2号、3号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

(い わ て)

第1号議案 2024年度事業計画(案)について

高橋一博 会長

○事業計画(案)

1) 総務部

佐々木まゆみ 常務理事

2) 学術部

小野寺奈緒 副会長

3) 各研究部門

書面参照

4) 公益事業部

川村将史 常務理事

5) 生涯教育研修部

千葉寛 副会長

6) 精度管理部

書面参照

7) 書記・会報部

藤倉由規 理事

8) 各地区・事業計画

書面参照

第2号議案 2024年度収支予算(案)について

佐々木まゆみ 常務理事

(2024年4月1日から2025年3月31日収支予算書)

以上第1号、2号議案とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

7. 総会役員解任

8. 議長解任

9. その他

下川事務局長より 本日事前登録なしで参加された方は会員番号を事務局までご連絡ください。

10. 閉会の辞

以上、Web会議システムを用いた定時総会は、終始異常なく議事がすべて終了したので、事務局下川波歩は、午後2時15分閉会を宣言した。

以上議事録に相違ないことを確認しました。

2024年5月25日

総会議長

前川 久美

議事録署名人

下川 波歩

佐藤 昂



令和 5 年度 第 6 回理事会議事録

日 時：令和 6 年 5 月 25 日（土曜日）10:00～11:40

場 所：岩手医大内丸メディカルセンター技師研修室および WEB 開催

出席者：高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、佐々木まゆみ、浅沼匡介、川村将史、三浦采香、
熊谷公代、新沼美穂子、下川波歩、佐藤昂、菊池英岳、櫛桁久美、畠山秀樹

WEB 参加：藤倉由規、菊池佐知子、朝岡千佳子

欠席：熊谷正邦、千葉拓也、中沢和浩、千枝貴幸

(1) 会長より前回常任理事会報告

報告事項

1. 令和 6, 7 年度日臨技理事推薦について
副会長 千葉 寛氏を岩臨技として推薦

2. 宮島喜文氏 旭日中綬章祝賀会について

4 月 27 日（土）12:30 受付開始

ホテル日航川崎 12 階 鳳凰の間 高橋会長、畠山アドバイザーが参加した。

畠山アドバイザーは当日理事会後の出席だった。

理事会が開催される場合、理事の交通費は日臨技負担となり、岩臨技は会長分のみ。

会費一人 2 万円、宿泊なし。会費、交通費は岩臨技負担。

確認事項

3. 年度末監査について

年度末監査と次年度の予算について、年度末監査は 4 月 24 日午後として予定し終了した。

協議事項

4. 岩手県医学検査学会進捗について

趣意書完成。

学会決済システムの審査が必要。入金された 3.8%の手数料が必要。

クレジット会社により、手数料が違う。

学会ホームページ閲覧開始済。

一般演題は日赤からの 1 題が登録。

5. 記念式典について

来賓の方々には知事、盛岡市長、県医師会長、日臨技代表者、北日本支部都道府県会長としていたが変更がある見込み

各県の会長の参加費用・旅費はそれぞれの県で負担した事例あり。

案内状の作成が必要。リハビリテーションセンターの雛型を確認。

総会後の早い時期が望ましい。

(い わ て)

祝辞は知事、市長、医師会長、(日臨技代表)

式典内で功労者の表彰を行う。各地区からの推薦1名。盛岡地区は2名推薦。

記念品と賞状の準備が必要。

4月以降地区会長に推薦依頼を出す。

6. 岩臨技設立70周年、法人化35周年記念祝賀会について

ホテルニューカーリーナを予定、Max100名くらい。

盛岡地区数名で話し合いを行う。

7. 記念誌編集事業について

編集委員を組織する必要あり

各地区で取り纏めをする方が必要。

過去の行事の記録を取り出す作業を行う盛岡地区の方が必要。

費用として見積り100万円程度必要。送付は郵政か佐川となるが、どちらも経費が発生する。

病院数は100施設、個人会員50人程度、25万円から30万円程度最低でも必要。

発行時期は12月を目途に。

8. その他

- ・マイナビ高校生ガイダンス。6月に行われる。

盛岡地区の工藤さん、及川さんに川村さんの補佐を依頼済み。

岩臨技の公益事業対象として行う。

- ・来年度からの研修会の日当・謝礼の案をサイボウズにアップすることにした。

- ・岩手銀行の定期預金(200万円)を解約し、記念式典、祝賀会費用に使用する予定。次回定期預金を行う場合は楽天銀行を考えている。

- ・宮古病院4名、釜石病院5名の宿泊はエスポワール岩手で海の券、山の券を使用したい。佐々木まゆみ常務理事が取り纏め。

- ・ニューリーダー研修について

4月以降に講師の派遣を日臨技に確認するのは。

他県では年齢枠を撤廃しているのでこれに準ずる。

川村、畠山、佐藤、三田の日臨技研修受講者4名が中心になって準備を進める。

4名×4グループで16人程度の参加者を予定している。

参加費に関して令和6年度第1回理事会で協議する。

宮城県は無料。富山500円。岩手県の他の研修会は無料となっている。

- ・タスクシフト第2回目は11月24日(日)を予定。アイーナを使用する。

(2) 2024年度 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会について

1. 進行打ち合わせ

- ・総会役員について

資格審査委員：三浦采香理事代理、議事運営委員：新沼美穂子理事、

(い わ て)

書記：藤倉由規理事、熊谷公代理事

議事録署名人：佐藤昂会計・下川波歩事務局長に依頼した。

・議長について

前川久美氏（岩手県立宮古病院）に依頼した。

・議事録の訂正

年度表記について、日臨技は総会から 2024 年度が開始されているのでこれに準ずる。

総会案内は 2024 年度、資料は 2023 年度になっているので 2024 年度とする。

・進行は例年通り進行する

・承認第 1 号 議案書記載の通り。重要な部分のみ報告する。

学術部(小野寺副会長)

- ・重複した研修会は来年度から整理して載せる。

公益事業部(川村理事)

- ・記載の通りだがマイナビ進学ライブは初めての参加なので報告する。検査と健康展も活動内容を報告する。

生涯教育研修部(千葉副会長)

- ・生涯教育活動 21 行事のうち推進事業採用は 16 行事。推進事業に該当するのは 2 月までの行事となる。3 月開催は対象外。

- ・ニューリーダー研修は、まだ対象ではないが今年度推進事業に入る見込み。

精度管理部報告は千葉精度管理部長が欠席のため高橋会長が代読する。

書記・会報部は総会には藤倉書記・会報部長が出席するので報告していただく。

地区技師会・事業報告は資料参照とする。

・承認 2 号 2023 年度収支決算書の科目、予算額、決算額、差異を読み上げる。

・令和 5 年度監査報告書は菊池監事を読み上げる。

・第 1 号議案

2024 年度事業計画案(高橋会長)

○あっぷりレーマラソン(川村理事) 参加の可否を第 1 回理事会で協議する。

○タスクシフト/シェア講習会の実施(千葉副会長)

6 月参加者は現在 24 名。北日本支部全域に枠を広げている。会員に周知後、東京まで拡大する。開催が見送られた場合、会場キャンセル料が発生する。延期にすると取られないことが多い。講師のキャンセルも次回のことがあるので難しい。

放射線や臨床工学は受講済み人数が多い。ラダー講師が可能なことが要因か。検査も今後、大腸以外は技師でよくなる見込み。参加の声掛けをお願いしたい。

○施設代表者連絡メールの確認・整備(下川事務局長)

代表者が設定されていない病院が多い。8 施設ほど抜けている。代表者にのみメールを配信しているのでサーベイの申込み忘れがある。ホームページで代表者の設定を周知する。

○自治体との災害対応協定の準備

県保健福祉部の指示を仰ぎながら準備する。徳島県を雛型として岩手県版を作成し県と協議できるよう進める。佐々木理事が担当者とコンタクトをとり対応する。災害時派遣される人が保証を受けられる。県や業者から支援が受けられる。

(い わ て)

日臨技を通さない行動は自腹なので協定が必要。JMAT と提携を組みたい。

総務部(下川事務局長)

○研修会・会議用ツールについて

①zoom は 100 アカウント、②zoom+Webinar は 500 アカウントで契約している。

同じアカウントで zoom と Webinar は同時に使用不可なので 100 アカウントを超える場合は②を使用すること。

学部部(小野寺副会長)

○タスクシフト/シェア講習会 2 回目は 11 月 26 日予定。

○各部門主催研修会の開催 新人向け研修会について 7 月に 4 週で予定している。

総会委任状の回収方法について(浅沼理事)

○グーグルフォーム QR コードでリンクさせ議案毎に承認の可否を問う方式にしたい。

10 月から切手代も値上がりする。ID、名前を必須として年内に実験する。

各地区技師会について(畠山アドバイザー)

○コロナ前は研修会が 50 くらい開催されていたが現在は 20 程度となっている。もう少し開催できないか

(高橋会長)地区割を見直しも含め検討継続する。

(小野寺副会長)学部部では、今年度から部門長に年間計画の提出を依頼している。次の総会ではその内容を事業計画として利用する予定。各地区技師会の研修会については、北日本支部研修会の報告会や、すでに開催された研修会と同じテーマの内容を別のメーカーに依頼することも許容する。Web 研修会の場合は、どこからでも参加できるので、県内全体に開催案内を出す。研修会企画で困ったときは学部部に相談をしてほしい。部門長とも相談し、盛岡だけではなく、各地区での実技も検討したい。

(千葉理事)保健所適時調査で職員の研修状況の提示が求められる。問い合わせれば公表可能か→個人で確認すること。



令和 6 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：令和 6 年 5 月 25 日（土曜日）14:30～18:10

場 所：岩手医大内丸メディカルセンター技師研修室および WEB 開催

出席者：高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、佐々木まゆみ、浅沼匡介、藤倉由規、川村将史、
三浦采香、熊谷公代、新沼美穂子、下川波歩、佐藤昂、菊池英岳、櫛桁久美、畠山秀樹

WEB 参加：菊池佐知子、中沢和浩、朝岡千佳子

欠席：熊谷正邦、千葉拓也、千枝貴幸

報告事項（高橋会長）

1. 令和 6 年度日臨技総会及び役員について

会長：横地常弘 氏

北日本支部から副会長として福島県立医大の山寺氏に決定する予定

岩臨技からの理事推薦は 副会長の千葉氏とする。いずれも総会での承認が必要。

過去に過半数に満たず見送られたことがあった。電磁的決済を推進して投票率の向上呼びかけをお願いしたい。

2. 宮島喜文氏 旭日中綬章祝賀会について

4 月 27 日（土）12：30 受付開始

ホテル日航川崎 12 階 鳳凰の間 高橋会長、畠山アドバイザーが参加した。

畠山アドバイザーは当日理事会の後の出席だった。

理事会が開催される場合、理事の交通費は日臨技負担となり、岩臨技は会長分のみ。

会費一人 2 万円、宿泊はなし。会費、交通費は岩臨技負担。

協議事項（高橋会長）

3. 岩手県医学検査学会進捗について

- ホームページ公開済
- クレジットカード決済機能テスト済。クレジット会社によって手数料が違う。
- 一般演題受付開始 演題締め切りは 6 月 14 日。8 題に達した時点で締め切る。
現在の出題予定は日赤 1、中央病院 1、岩手医大 2、中部 1、胆沢 1、遠野 1。
- 参加登録 8 月 1 日開始予定。スタッフは 7 月 16 日～19 日予定とする。
- 広告協賛 現在 7 社
- ランチョンセミナーはロッシュが担当する。
- 開会が高橋会長、閉会是新沼実行委員長が担当する。
- 講師 2 名に係る費用の内訳
石山氏の講師料は学会負担。祝賀会参加費、宿泊代は岩臨技負担。
仲本先生は地元のため宿泊は不要。
祝賀会で祝辞を依頼する方の宿泊は自己負担とし、積極的に斡旋しない。

(い わ て)

- 学会タイムスケジュールについて (サイボウズ-第 27 回岩手県医学検査学会フォルダ参照)
 - ・一般演題は 10 時開始、一般演題 8 題。11:40 までとする。トイレは場所を掲示
 - ・12:00～12:50 ランチョンセミナー
 - ・14:00～15:00 教育公演
 - ・15:10～16:30 特別公演
- その他
 - ・仲本先生に依頼文を 4 月に送付したが届いているか確認する。併せて PC、USB の確認も必要。
 - ・会場使用 PC はアイーナから借用 1 台、岩臨技 1 台、不足分は千葉副会長、畠山アドバイザーが用意する。
 - ・受付用リーダーは 4 台、事前受付分は名簿で対応。リーダーは当日受付に使用。
 - ・プロジェクターは会場で借用。
 - ・アイーナの撤収作業：新沼、朝岡、花輪
 - ・祝賀会会場への来賓誘導:来賓 4 名(仲本先生、石山氏、日臨技代表者、北日本支部長) タクシー2 台で会場ホテルへ向かう。添乗は高橋会長、千葉副会長、佐々木常務理事。

4. 記念式典について

- 来賓の方々は日臨技代表、北日本支部都道府県会長
- 各県の会長の参加費用・旅費はそれぞれの県で負担していただく。
- 式典内で功労者の表彰を行う。各地区からの推薦 1 名。盛岡地区は 2 名推薦。7 月までに人選する。
基準：50～70 年の間に岩臨技技師会活動に貢献された方。退職者は最終勤務地の地区で推薦する。本人の承諾は推奨。
報告先：サイボウズ掲示版を予定。

5. 岩臨技設立 70 周年、法人化 35 周年記念祝賀会について

- 祝賀会担当佐藤氏よりの提案について
- 受付は小野寺副会長、中央病院より数名。
- 開会は千葉副会長。閉会は小野寺副会長が担当する。
- 式次第 1.開会の辞 (千葉副会長)
2.会長挨拶 (高橋会長)
3.来賓祝辞 (北日本支部会長)
4.鏡開き (高橋会長、日臨技代表、北日本支部会長…保留)
5.乾杯 (菊池監事)
6.会食、歓談
8.表彰者紹介
9.余興 (抽選会)
10.閉会の辞 (小野寺副会長)
- 会費 5,000 円、2,000 円補助予定。賛助会員 7,000 円 (飲食代として)。

(い わ て)

6. 記念誌編集事業について…次回協議とする

7. その他

- 本年度のあっぴりレーマラソンへの参加について

参加する方向で進める。

- 地域ニューリーダー研修について

川村、畠山、佐藤、三田の日臨技研修受講者4名が中心となって実施。日臨技にも講師依頼を行う。

- タスクシフト研修会について…令和5年第6回理事会で協議済

6月の研修会に参加人数が不足している状況

- 岩臨技地区割の再考について

北部地区からの提案。県内では人口減少に伴い地区技師会を維持する事が難しくなっている。昨今ではZoomによるWeb会議や研修会の開催も容易となり、地区割を見直してみても良い時期となっているのでは？

(新沼理事) 三陸地区はクリニックも多く理事が集まらない。会長と事務局、副会長と会計を兼任している状態。県学会は毎年行わなければならないのか。

→ (高橋会長) 継続して協議が必要。

(中沢理事) 南部地区は横に広く病院間の移動に1時間以上かかる。集合研修はなくてもよいのではないか。県立病院が多いので役員は県病が引受けているが異動があるので人選が難しい。

(菊池理事) 南部は広いため活動がなかった。中部は異動したばかりなのでわからない。

(小野寺副会長) 研修会はWeb開催が多くなっているので地区毎で行わなくてもよいのではないか。Webで各地区の意見を聞いてみてはどうか。

(川村常務理事) 盛岡、中部を残すのであれば負担が大きいので会員の把握が必要。地区のあるメリットとして公益事業を行うときに地区会長を窓口にして進めやすい。

(高橋会長) 統合するには定款の改定が必要なので検討する。

(下川事務局長) 総会で2/3以上の承認が必要。

- 役員任期について

岩臨技役員の任期は2年である。現在の任期は他県とはサイクルが異なる。

この為、次回改選・定款の書き換え時に一時的に任期を3年とし、他県のサイクルと同調させてはどうか？

(下川事務局長) 特例として総会で承認する方向で進める。令和7年度改変時に候補に挙がった人に伝える。定款の一時的書き換えにするか、司法書士に相談する。

- 自治体との災害時連絡協定締結について…令和5年第6回理事会で協議済

- 小野寺副会長より

① 新人向け研修会の企画説明と非会員新人無料について了承をいただきたい。

非会員は7,000円の参加費を支払うことになっているが、新人向け研修会のみ無料とする。会員への一斉メールで周知できないため、施設代表者にメールを送り周知していただく。非会員向けの参加登録用QRコードを開催案内に貼付。

(い わ て)

今年度技師会の会員数が1割減っている。非会員申込者には技師会入会案内も送付する。

研修会は7月に4週にわたって開催。1週目が会長からの岩臨技の紹介・生物化学分析、2週目が血液検査・一般検査、3週目が生理検査・病理検査、4週目が細菌検査・輸血検査を予定している。

② 学術部門研修会開催の運用および共催等申請書の運用について説明させていただきたい。

- ・研修会開催の運用と申請書を変更し、5月8日の学術部の会議で部門長に説明した。すでに運用を開始している。

- ・コロナ前後で研修会の様式が変わったので、形式に不具合が生じたところを変更した。併せてマニュアルを作成した。

- ・共催等申請書については、他団体やメーカーから申請していただく時に使用する。窓口(提出先)は事務局で担当。申請のあったものはサイボウズ内で常務理事の承認を得る。岩臨技HPからダウンロードできるようにしたい。原則、岩臨技主催(単独)で開催するよう部門長には伝えてあるので、研究部門で使用することはない。

- ・申請書やマニュアルは、サイボウズ-部門長(「研修会関連(生涯教育)」に変更されている)のフォルダに格納した。各地区研修会もこれに準じること。不明な点や修正が必要な場合は小野寺まで。

(新沼理事) 三陸地区は参加者が5~6名であり非会員も無料にして地区負担にしたいと考えている無料でもよいか

(小野寺副会長) 技師会活動は会員からの会費で行われているので、非会員からは参加費を徴収するようにしてほしい。日臨技から補助金をもらうことで岩臨技にもメリットがある。

(千葉副会長) 1か月前までの申請で補助金がでる。

(下川事務局長) 各地区の予算は岩臨技の会費で賄われているので非会員を無料にするのであれば会長の承諾を得てから行うこと。

③ 実技研修時の備品破損等があった場合の補償について相談

- ・日臨技の保険…対人あり、対物なし。1日保険は高額。
- ・岩手医大で顕微鏡など貸出料金が発生するので補償代も含まれるか確認する。
- ・問題があるときは再度検討する。



(い わ て)

令和6年度 岩臨技 学術部 研究部門 研修会予定

※ 太字：開催が確定している研修会（日臨技申請済み）

2024年

4月	20日	病理・細胞検査部門（現地開催）「2024年4月施行 労働安全衛生法に関する勉強会」
5月	25日	2024年度 岩臨技総会（Web開催）
6月	6日 16日	生物化学分析部門（Web開催）「免疫検査のピットフォール」 タスクシフト実技講習会（岩手県 004）⇒ 開催最少人数に達しないため開催中止
7月	4日 11日 17日 20日 24日 (7~8月頃) 未定	学術部門合同研修会 part1（Web開催）「岩臨技の紹介、生化学・免疫検査」 学術部門合同研修会 part2（Web開催）「血液検査、一般検査」 学術部門合同研修会 part3（Web開催）「生理検査（心電図、ABI）、病理検査」 感染制御部門（Web開催）「薬剤耐性菌」 学術部門合同研修会 part4（Web開催）「輸血検査、細菌検査」 血液検査部門（Web開催）「血液形態の基礎」 血液検査部門（Web開催）「凝固検査 ①」
8月	24日 未定 (8~9月頃)	病理・細胞検査部門（現地開催）※ 内容は開催案内を参照 血液検査部門（Web開催）「凝固検査 ②」 生物化学分析部門（Web開催）「内容未定」
9月	未定 未定	一般検査部門（Web開催）「上皮細胞の基礎（仮）」 染色体・遺伝子部門+感染制御部門（Web開催）「精度管理について（仮）」
10月	(10~11月頃)	感染制御部門（現地開催）「嫌気性菌（実技あり）」
11月	未定 未定 24日 未定 未定	一般検査部門（現地開催）「尿沈渣鏡検実習（実技あり）」 血液検査部門（現地開催）「症例検討会（実技あり）」 タスクシフト実技講習会（岩手県 005） 移植検査部門（Web開催）「不規則抗体検査について」 染色体・遺伝子部門（Web開催）「遺伝子検査を依頼する際の検体の取り扱い方（仮）」
12月	未定	移植検査部門（現地開催）「認定受験予定者向け研修会（実技あり）」

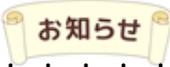
2025年

1月	未定	血液検査部門（Web開催）「FCMの基礎」
2月	上旬	精度管理調査報告会・総合管理部門「内容未定」
3月		

※ 時期未定 生理検査部門（現地開催）「脳波検査の実技（実技あり）」

※ 時期未定 生理検査部門（Web開催）「内容未定」

研修会・講習会情報

*  お知らせ * タスク・シフト / シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 *



6月16日(日)に開催を予定しておりました「タスク・シフト/シェアに関する実技講習会(岩手県 004)」は、最低受講者数の50名が確保できなかったため、日臨技の規定により開催を中止させていただくことになりました。

既に申し込みをされている皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

中止に伴う申し込み及び受講料等については、以下のような対応をお願いいたします。

- 講習会への申し込み
改めてご希望の講習会にお申し込みくださいますようお願いいたします。
尚、次回は以下の日程で開催を予定しております。

【タスク・シフト/シェアに関する実技講習会(岩手県 005)】

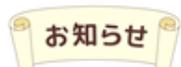
日時:令和6年11月24日(日)
会場:いわて県民情報交流センター(アイーナ)

- 受講料に関して
受講料をお支払いされている方は、次回の受講時に充当いたします。
いかなる理由がある場合も返金はされませんのでご了承ください。

<問合せ先>

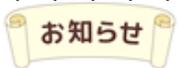
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当者
TEL:03-5767-5541(直通) E-mail:task-shift2@jamt.or.jp

(い わ て)



令和 6 年度 第 1 回感染制御部門研修会

- 【 内 容 】 0からはじめる薬剤耐性菌
- 【 日 時 】 2024 年 7 月 20 日(土)14:00 ~ 15:20
- 【 場 所 】 WEB 開催
- 【 参 加 費 】 会員・賛助会員 無料 非会員 7,000 円
- 【 教 科 ・ 点 数 】 専門教科 20 点



令和 6 年度 岩臨技第 1 回病理・細胞検査部門研修会

- 【 内 容 】 令和6年度 認定病理検査技師 試験対策
DMAT 活動報告
PAS 反応について
化学物質管理者の役割
HER2 低発現乳癌
- 【 日 時 】 2024 年 8 月 24 日(土)14:00 ~ 15:20
- 【 場 所 】 WEB 開催
- 【 参 加 費 】 会員・賛助会員 無料 非会員 7,000 円
- 【 教 科 ・ 点 数 】 専門教科 20 点



(い わ て)



Focus on the future

～未来を見据えた臨床検査技師を目指して～

会 期 2024年10月19日(土)
開 催 地 盛岡市(いわて県民交流センター)
主 催 一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
開催担当 三陸地区技師会

学会ホームページ公開中です。

岩臨技 HP のトップページバナーとリンクしております。

一般演題募集も始まっていますので、よろしくお願いいたします。

参加登録開始：2024年8月1日(木)～

充実した学会になるよう、みなさまのご協力お願いいたします。



(い わ て)



“つなぐ”

今回の『つなぐ』は岩手県立大船渡病院の小野寺 明穂さんです

今回、県立胆沢病院の小田島香さんから引き継ぎました、県立大船渡病院の小野寺明穂と申します。小田島さんは県立胆沢病院にいた頃の後輩で、検体検査や会計で色々助けていただきました。

今回「つなぐ」のテーマですが、大好きな猫について書きたいと思います。新潟の実家には、生まれてから岩手で一人暮らしするまでの22年間途切れず猫がいました。最初1匹だった猫は、たくさんの出会いを経て実家を出るころには6匹まで増えました。冬は一緒に寝てくれたり、夏はセミやトンボを狩ってきてくれたり、とても楽しい日々でした。今は近所に見つけた猫の集会場のようなスポットを時々通りかかっては癒されています。



実家の猫たちです。

ここで、猫の種類について紹介させてください。というのも、猫と暮らすにあたり、実家にいた猫も雑種だったため猫種にこだわりはなかったのですが、旦那は猫を触るとたまに軽いアレルギー症状が出てしまいます(本人は猫大好き)。心配で調べたところ、アレルギーの出にくい種類の猫がいることが分かりました。ここではその猫を一部紹介させていただきます。

①スフィンクス しわしわの皮膚が露出したような見た目で、毛がないように見えますが実はとても短い産毛に覆われています。他の猫種に比べ抜け毛が格段に少ないためアレルギーになりにくいとされています。(猫アレルギーは主に猫の毛、フケ、唾液、排泄物などに含まれる特定のタンパク質がアレルギーとされています。)

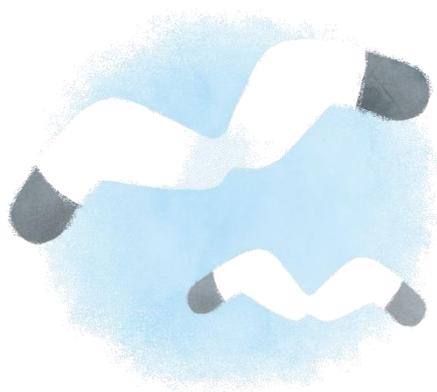
②サイベリアン ロシアに起源を有する長毛種で寒さに強く、体重4~8kgと大きめの種類です。サイベリアンは長毛種ですがアレルギーが他の猫種よりも少なく、アレルギーが出にくいとされています。

③ロシアンブルー ブルーグレーの毛に手足が長く細身、エメラルドグリーン目を持つ猫種です。短毛種であり、この猫種も生まれつきアレルギーが少ない種類のため、アレルギーになりにくいとされています。

あくまで絶対症状がでない訳ではないですし、こまめな掃除や抜け毛対策、シャンプー、生活スペースを区切るなどの対策と併用することは必須ですが、同じ悩みを抱えている方の参考になればいいなと思います。

つたない文章をここまで読んでいただきありがとうございました。次の方はまだ決まっていませんが、声掛けがありましたら快く引き受けていただけますと幸いです。よろしくお願ひします。

(い わ て)



～ 編集後記 ～

皆様のご協力により今回も会報を完成させることができました。感謝いたします。

梅雨が明けると暑さ本番です。スイカ、かき氷、そうめん、鰻?? 旬のものを美味しくいただき心穏やかに乗り切りたいですね。(kuma)



会報「いわて」第347号 2024.6

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp